

(原状回復費用)

請求の趣旨【前記記載のとおり】

- 1 被告【ら】は、原告 に対して、【連帯して】次の金額を支払え。
- (1) 金 276,000 円
- (2) (1)の金額【のうち金 _____ 円】に対する【 _____ 年 _____ 月 _____ 日
本訴状送達の日翌日】から支払済みまで年 ● パーセントの割合による金員
- 2 訴訟費用は被告【ら】の負担とする。
- との判決【及び仮執行宣言】を求める。

請求の原因（紛争の要点）

- 1 原告 _____ は、被告 南田一郎 に対し、平成 28年 4月 1日の入居から、令和 元年 9月 30日の退去まで、以下の物件を賃貸し使用させた。
- (1) 物件 所在 東京都 板橋区 上板橋△丁目△番△号
名称 板橋ハイツ △△△号室
- (2) 賃料 月額 75,000 円【管理費等、別途月額 5,000 円】を、
毎月 末 日限り【翌 当】月分払い
- 【 (3) 連帯保証人 被告 南田秋夫 (平成 28年 4月 1日付け保証を証する書面あり)】
- 2 上記1(1)の物件明渡時に、原状回復費用として総額 276,000 円の負担が生じているが、そのうち、経年劣化、通常の使用により生じた損傷部分を除いた、被告側の責めに帰すべき事由により生じた損傷部分の費用は、【以下 別紙】記載のとおり、合計 276,000 円となる。

損傷部分	損害額 (円)	具体的帰責事由 (損傷の原因・具合等)

- 3 上記2について、原告 _____ に支払われた金額は、【ない _____ 円である
(ただし、【敷金・保証金 _____ 円 過払賃料 _____ 円】の充当分を含む。)]。
- 4 よって、原告 _____ は、被告【ら】に対し、【連帯して】276,000 円【及び遅延損害金】の支払を求める。